

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

## 昭和49年度学部学生卒業論文目録

---

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

社会労働研究

(巻 / Volume)

21

(号 / Number)

3-4

(開始ページ / Start Page)

255

(終了ページ / End Page)

260

(発行年 / Year)

1975-03-20

# 昭和四十九年度社会学部学生卒業論文題目

## 第一部

- |        |                            |        |                                     |
|--------|----------------------------|--------|-------------------------------------|
| 岩崎 武   | 現代社会における絵語の過程とその問題点        | 平塚 静夫  | めぐる想像 ベトナムからアメリカへ<br>実際のマーケティングを考える |
| 浜田 みさを | 旅を求めて                      | 久保田 裕造 | 発想する人間IIクリエーター                      |
| 大塚 修一  | POPカルチャーの為のカタログ            | 村松 和夫  | 国際文化比較                              |
| 並木 均   | 現代文化の様相                    | 安藤 孝雄  | つれづれなるままに                           |
| 植田 吉則  | コミュニケーション論の化生              | 中尾 千秋  | 「聖」と「遊」                             |
| 相沢 和男  | 写真の本質                      | 半沢 隆子  | 小さな世界観                              |
| 仁田 洋   | 馬券作戦                       | 竹村 伸子  | 方法と方法でないもの                          |
| 浅野 勉   | 自動車と身近な問題                  | 須田 伸一郎 | 足尾鋇毒事件                              |
| 小松 義夫  | 砂の見る夢(思考及び言葉の哲学的解釈)        | 渡辺 慶子  | 寿・山谷地区の越冬——ルポルタージュ                  |
| 小原 哲郎  | 立てノ消費者                     | 大橋 清澄  | 公害と住民運動                             |
| 村山 敦子  | 意味するもの                     | 平野 勝宏  | 健康保険組合概要                            |
| 金田 育   | 意識の発生…私…                   | 中島 光敏  | 財政投融資と公的年金                          |
| 寺島 勤   | ALBUM論——写真映像への若干の考察        | 伊藤 勉   | 障害児の現状と課題                           |
| 加藤 茂登馬 | 『ジュリアス・シーザー』をめぐる記号学的<br>道遙 | 齊藤 萬   | 地方自治体における福祉行政の現状と地方財<br>政の危機について    |
| 加門 保   | 人間性の回復                     | 福沢 辰幸  | 我が国の皆保険下における医療制度の現状と<br>問題点について     |
| 塩川 澄夫  | 「アメリカ」——「かもめのジョナサン」を       | 齊藤 和彦  | 救貧制度発展史——イギリスと日本——                  |

- 横瀬辰也 心身障害者福祉——歴史・施設・現状——
- 朝稲秀男 福祉国家を考える
- 一ノ瀬紀子 家族福祉について
- 信田美弥子 婦人労働者の権利——母性保護
- 鳥丸順子 婦人運動の歴史
- 富岡洋 医療保障の国際的展望における一考察
- 麻生弘二 生存権と老人問題
- 神田英治 年金と老人問題
- 市川聡 大衆社会とマスコミ
- 太田博久 「言語にとって美とは何か」の言語の本質
- 川島弘彦 マス・メディアにおけるコミュニケーション論(過程)
- 高田光男 和辻哲郎の「風土」と日本文化を探る一視点
- 平岩清和 ものみな複製の時代に
- 山下昭夫 ひとつの日本文化論——日本人のコミュニケーション
- 高品豊 「すみません」という言語にみる日本人の意識
- 沢田政司 マス・メディアの社会的機能とその歴史的展開について
- 遊長栄一 現代社会の心理
- 森野郁夫 認識におけるイメージ
- 水本隆文 テレビの二十年——政治Ⅱ権力とテレビ——
- 星野始 CATV——現代における位置と可能性
- 渥美克彦 フランス労働総同盟、成立の背景とその前史
- 佐々木恵 ドイツ社会労働運動史と社会民主主義
- 武井透 社会教育施設論
- 山口潤一郎 戦後統一戦線の歴史
- 阿久津洋夫 イギリス共産党の創立過程
- 平野好輝 現代社会における人間の復権
- 千葉寿夫 疎外される人々考
- 八田幸平 韓国における民衆運動
- 水沢裕一 インド民族ブルジョアジーと中立主義、そして戦後世界の非同盟政策
- 畑野政雄 科学的社會主義への過渡期としてのタンザニア社會主義
- 秋葉民喜 日本の新植民地主義的東南アジア進出
- 関秀之 ベトナムにおける統一戦線の形式と発展
- 秋元肇 チリ・革命と反革命
- 藤崎謹治 釣魚列島領有問題
- 鈴木富士夫 中国社會主義論
- 有本郁夫 ヨーロッパの世界制覇と南北問題
- 鈴木真理子 北アフリカにおける新植民地主義と社會主義
- 神正紀 歴史と人間
- 関芳樹 イギリスにおける社会的停滞とイギリス国民性

- 高岸 信行 人口過疎問題と農業について——特に北海道の問題——
- 渡辺 章 日本の公害問題
- 豊田 達生 都市の中の人間
- 佐藤 和之 住宅問題再考
- 小笠原 秀人 生活環境破壊としての水俣病問題の諸状況
- 岸 俊一 大都市における人口過密
- 臼井 勝之 国立公園——その現状と問題点
- 春日 克弘 ヨーロッパにおける自然保護
- 佐藤 しげ子 過疎対策のある現状——三島町について——
- 新 高行 歴史的にみた自然と人間のかかり合い——自然文化史の試み
- 齊藤 範子 自然保護と自然保護教育
- 小林 英樹 わが国のエネルギー資源の現況とこれからの展望
- 阿部 勝 所得の分配——生産要素の価格付け
- 板倉 清隆 国民所得論
- 長谷川 淳 日本経済の発展と金融
- 高橋 隆 有効需要の原理
- 永田 明 国民所得論
- 市場 昭 J・M・ケインズ経済学における乗数理論の果たした役割および乗数理論の実際的応用についての一考察
- 河村 敏通 「地代論」(D・リカード)の一考察
- 池田 伊久美 統一戦線運動とスペインの経験
- 白根 己喜夫 日本労働運動における友愛会
- 佐々木 太郎 日本無産党の研究
- 新井 真 中国革命におけるコミンテルンの功罪——特に西安事変、八・一宣言を中心として——
- 上田 雅弘 スペイン革命の歴史的総括
- 満生 修二 技術の進歩と労働の変化——労務管理との関連で——
- 藤井 照良 現代の社会意識——調査による社会学的考察——
- 高原 稔 有賀喜左衛門における生活研究の方法
- 細田 隆 マックス・ウェーバーと近代化の問題
- 二宮 辰弥 ユートピアとは何か
- 伊藤 早苗 現代社会と女性問題——主婦向け月刊誌十年間における「身上相談」からの一考察——
- 山本 稔 現代社会と青年の意識構造——「同棲時代」ブームの中で——
- 川村 文義 昭和四十年代の労働市場と労働条件
- 渡部 博 日本経済における二重構造問題
- 大西 章史 中小問屋の発展と小規模零細商業の存在性を確立していくために
- 石井 正俊 多国籍企業に関する一考察

- 沙魚川 秀一 独占禁止法研究
- 田島 治雄 地下鉄を中心として見る都市公営交通の経営状態
- 矢部 保雄 超過負担について
- 高木 安助 商品論
- 伊藤 孝雄 「帝国主義の古典的時期」のドイツ財政
- 小泉 誠一 一九三〇年代恐慌におけるアメリカの一考察
- 宇井 寛一郎 法人所得と課税
- 和田 一雄 年次有給休暇、労基法三九条三項について
- 田島 信好 転換期における賃金問題
- 清水 宗雄 休暇闘争(年次有給休暇制度の現状と問題点)
- 佐藤 博俊 公務員の争議権についての研究
- 小沼 高偉 労働組合の統制権研究
- 神田 義宝 労働時間短縮について
- 真崎 昇 労働組合における内部統制の研究
- 赤近 善治 奄美群島の産業構造と大島紬
- 大井 講三 自由と必然性
- 岩崎 友子 日本人の朝鮮観の形成
- 貫名 隆一 中江兆民における自由像
- 白川 忠 一九一〇年から一九一六年について——民本主義の出現を中心に
- 金井 英明 労働運動黎明期における片山潜の思想と行動——帰国当初から社会民主党結成まで——
- 宇田川 正訓 日本近代社会思想の原型——自由民権運動と初期堺利彦——
- 小野田 幸蔵 大杉栄の思想
- 椿原 進 マルクスの経済学研究への出発点
- 中内 正一郎 社会主義と農業
- 森田 修 縄文農耕と稲作の起源
- 鳥飼 整治 戦後農政と出稼ぎ
- 池田 善一 長田野工業団地における環境の保全と地域社会との融和
- 今関 達夫 日本資本主義の成立についての考察
- 長井 久二 戦後日本資本主義の展開と農業
- 井出 則幸 「農業生産組織」に関する一考察
- 谷川 司 食糧農政——忍びよる危機を前に
- 祖伝 充俊 戦前における季節出稼についての若干の考察
- 宇佐美 貴 公務員の争議権問題について
- 海野 和則 公共部門におけるスト権の国際的動向とスト規制
- 中村 泰勝 使用者側の争議行為について
- 吉原 隆志 官公労働者の労働基本権
- 福山 憲昭 現状分析(現代アメリカの世界戦略)
- 朝川 博之 一九世紀アメリカ経済発展史における鉄道の位置づけ
- 天間 環 巨大工業開発

- 南 惠二 現代日本の社会構造と日常性
- 鎌田 康子 人間・自然・女性
- 大矢 三郎 近代公教育の成立過程とその批判的分析
- 竹内 享 青い日々からの報告
- 高山 次雄 青少年の疎外状況と社会化
- 増井 世紀子 エリトリア解放戦線革命綱領
- 川崎 克己 朝、をめぐって
- 庄司 新太郎 構造主義
- 熊谷 康司 ジャズ雑記論
- 水澤 基治 テレビと娯楽
- 原田 孝一郎 かつこ悪いことはなんてかつこいいんだらう
- 橋本 雅夫 ヨーハン・クルト・ゲルシュタイル・ファウスト
- 中野 一彦 アブラ物語、世界の石油戦略
- 戸川 進 女の隠された真実
- 島村 誠 ヌンガによって犯された世界
- 押本 昌幸 そつろん
- 藤田 和彦 探偵小説の権利回復のための論
- 塗師 哲 マス・コミュニケーションにおけるフィード・バック
- 木曾 孝雄 「いき」的感觉を基盤にした現代風俗の一考察、手淫編
- 籠田 憲治 日本人の性
- 小峰 久明 「見ること」と「見られること」の構造
- 堀口 清則 子供の夜業
- 竹重 清 アメリカのコンテンツポラリー・ミュージックの今日の問題
- 奥原 誠 賃金体系とは
- 本田 純次 イギリスの団体交渉制度について
- 武居 健一郎 「労働力不足」に関する一考察
- 室伏 哲 地元中小企業の賃金体系の現状とその考察（調査による）
- 新村 豪敏 賃金と物価及び所得政策
- 田村 和一 わが国賃金体系の移り変りと年功賃金
- 武藤 英一 経済成長と所得分配
- 内田 征宏 賃金に対する労資の方針と対策
- 福士 誠 中高年令層の過剰問題
- 原 知子 国家独占資本主義下における婦人運動への一考察
- 小野 隆子 現代の母子福祉に関する問題点
- 狩野 和子 首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）の階級構成
- 川上 とし子 首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）の階級構成
- 須田 雅美 東京都の住宅事情
- 藤岡 道夫 福祉社会への展望

- 石井 啓一 今後の『積極的労働力政策』の展開  
 塩島 透 身分差別  
 南沢 京子 現代労働運動——その方向性と問題点  
 沖山 隆朝 政党支持問題について

第二部

- 小畑 政行 障害者の歴史——障害者差別の発生と成立  
 小林 晴夫 ソ連邦の社会保障  
 安田 秀臣 社会保障制度における障害年金のあり方  
 荒川 公義 日本における児童福祉と権利  
 形部 恵美子 我国における里親制度について  
 上田 豊 スポーツと政治  
 高橋 とし子 アルゼンチンに於ける労働者階級の形成とその闘いの発展  
 糊沢 喜久恵 スハルト軍部独裁と新植民地主義  
 三浦 福美 地域開発と住民運動  
 浅野 義安 勤労青年対策批判および青年運動の高揚に向けて  
 友光 俊郎 江戸川区「ドブ川訴訟事件」調査報告  
 田村 幸雄 日本の森林における一考察  
 関根 啓子 安全性についての考察——フタル酸エステルを通して  
 小林 昭子 現代ポーランドへの道程

- 田代 勝 戦後アメリカの世界戦略  
 吉田 央司 ベルギーの植民地政策とコンゴ独立への胎動  
 加藤 豊 大江健三郎論——その限界と可能性——  
 五味田 真知子 日本人と天皇制——そのイデオロギー分析——  
 鴻巣 元治 冬の時代と堺利彦  
 佐々木 光男 日本社会党小論  
 小栗 武明 公務員の労働基本権とりわけ争議権についての若干の考察  
 藤岡 清美 パートタイマー労働問題  
 関 清 戦後日本農業の展開と農業問題  
 森 純雄 教育労働と階級闘争  
 篠原 トシ子 図書館労働者の問題と今後の課題——司書職制度確立要求の検討の中から——  
 中山 敏則 公務労働と自治体労働者  
 島村 和良 日本統一戦線運動  
 堀 成行 十月革命における平和的変革のためのレーニンのたたかい  
 高橋 きみ子 「疎外された労働」からの解放——労働者管理／評議会／自主管理  
 川 洋子 ファッション  
 川 平 哲 沖縄の社会と思想——私的考察——  
 杉原 洋 老齢保障  
 草野 要作 「第五次五ヶ年計画」と電通労働者